

平成30年度第8回教育研究評議会議事録

日 時 平成30年12月19日(水)14:30～16:25
場 所 事務局棟5階大会議室
出席者 石井、丹沢、木村^雅、東郷、堀川、寺村、伊東、本橋、鈴木、日詰、田島、菅野、江口、近藤、小西、塩尻、坂本、川田、木村^元、河合、鳥山、平岡、原、恒川、三村、朴、澤田の各評議員
陪席者 鈴木監事、青木、白井、宮原の各学長補佐

I 前回議事録の承認について

平成30年度第7回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 大学間連携について

議長、丹沢委員及び木村^雅委員から、浜松医科大学との連携について、資料1により説明があった。

近藤委員から、浜松地域の大学名称については高校生へのアンケート調査結果を重く受け止める必要がある旨、意見があった。

朴委員から、浜松キャンパスが別の大学になった場合でもグリーン科学技術研究所は静岡キャンパス及び浜松キャンパスが共同で活動できるようにしてほしい旨、要望があった。

塩尻委員から、平成29年度までの静岡大学の教育研究に関する議論の基本は分野融合や広い視野を持った学生及び教職員を育成することであったが、静岡キャンパス及び浜松キャンパスの教員が主担当として教育研究活動を共同で行っているグリーン科学技術研究所、電子工学研究所、創造科学技術大学院及び総合科学技術研究科の再編後の組織編成等について、静岡大学としてどのような方針で浜松医科大学との連携協議会に臨むのか質問があり、議長から、グリーン科学技術研究所及び電子工学研究所は共同での活動を、創造科学技術大学院は共同大学院を想定しているが、総合科学技術研究科はキャンパス毎に活動した方がいいという意見があるので検討する必要がある旨、回答があった。

平岡委員から、地域創造学環は静岡キャンパス及び浜松キャンパスの学部定員を活用しているので、静岡キャンパスと浜松キャンパスが別々の大学になった場合どうするのか検討する必要がある旨、意見があった。

田島委員から、法人への運営費交付金の各部局へのセグメント経費としての配分後、浜松医科大学附属病院(以下「附属病院」という。)は会計単位として「独立」とあるが、運営費交付金の各部局へのセグメント経費の「配分時」に、経営上の観点から、他部局のセグメント経費を減額し、この減額分を附属病院の予算への増分とすることは制度上可能か質問があり、議長から、法人内の資源再配分は法人の判断で可能である旨、回答があった。

田島委員から、附属病院の施設整備等を行うため財政投融资以外に民間金融機関から長期借入れをすることは可能か質問があり、堀川委員から、調べて後日回答する旨、回答があった。

2 国立大学法人静岡大学テニュアトラック制に関する規則等の改正について

木村委員から、テニュアトラック教員のライフイベント等による期間延長等のため国立大学法人静岡大学テニュアトラック制に関する規則等の改正について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 静岡大学特別聴講学生規程の一部改正について

議長から、静岡大学特別聴講学生規程に高等専門学校を加えるため静岡大学特別聴講学生規程の一部改正について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 静岡大学研究支援員制度実施要項の一部改正について

議長から、研究支援員の支援対象者の拡大のため静岡大学研究支援員制度実施要項の一部改正について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 静岡大学個人情報管理規則の一部改正について

堀川委員から、総務省による独立行政法人等の保有する個人情報の適切な管理のための措置に関する指針の改正に伴う静岡大学個人情報管理規則の一部改正について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 J I C A 研修員(学位課程就学者)受入に係る独立行政法人国際協力機構と国立大学法人静岡大学との覚書の締結について

鈴木委員から、J I C A 研修員(学位課程就学者)受入に係る独立行政法人国際協力機構と国立大学法人静岡大学との覚書の締結について、資料6により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

1 平成30年度第9回企画戦略会議(平成30年12月5日)報告

議長から、平成30年度第9回企画戦略会議(平成30年12月5日)について、資料7により報告があった。

2 教員採用報告について

議長から、教員採用報告(採用1件)について、資料8により報告があった。

3 平成30年度年度計画の中間点検及び後学期の重点事項について

伊東委員から、平成30年度年度計画の中間点検及び後学期の重点事項について、資料9により報告があった。

4 THE世界大学ランキング2019におけるSubjectランキングについて

東郷委員から、THE世界大学ランキング2019におけるSubjectランキングについて、資料10により報告があった。

朴委員から、本データの開示について、単なるデータの紹介で留まるのではなく、大学として研究力向上やランキングの対策などの取組が必要である旨、意見があり、東郷委員から、世界版の結果報告資料に「ランキング上昇に向けてできる取組」をまとめお願いしており、部局でも部局の研究力向上にこれらの資料を有効に活用してほしい旨、回答があった。

5 オンタリオ工科大学(カナダ)との部局間交流協定の締結について

鈴木委員から、本学電子工学研究所とオンタリオ工科大学(カナダ)との部局間交流協定の締結について、資料11により報告があった。

IV その他

1 2019年度行事予定表について

丹沢委員から、2019年度行事予定表について、資料12により説明があった。

2 2019年度主要会議開催予定表について

議長から、2019年度主要会議開催予定表について、資料13により説明があった。

3 平成30年度学位記授与式及び平成31年度入学式について

議長から、平成30年度学位記授与式及び平成31年度入学式について、資料14により説明があった。

4 2019科学技術人材育成費補助事業「卓越研究員事業」について

木村委員から、文部科学省による2019科学技術人材育成費補助事業「卓越研究員事業」について説明があり、協力依頼があった。

5 労働時間の管理について

日詰委員及び田島委員から、平成31年度から実施される働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律(平成30年法律第71号)への本学の対応について、本学の現状や影響を充分考慮して実施してほしい旨、意見があり、堀川委員から、労働時間の把握を行わなければ法令違反となるため、今後発出される予定の厚生労働省の通知も参考にしつつガルーンを用いて確実に実施する旨、回答があった。

以上